

第10回長野市公共施設適正化検討委員会 議事録	
開催日時	平成27年9月30日(水) 15:00~17:00
場 所	長野市役所第一庁舎8階 第一委員会室
出席者	<p>[委員] 松岡委員長、神田副委員長、太田委員、片山委員、清水委員、中屋委員、西堀委員、西村委員</p> <p>[事務局(行政管理課)]</p> <p>寺澤総務部長、丸山行政管理課長、村上行政管理課長補佐兼公共施設マネジメント推進室長、大塚行政管理課長補佐、渡辺政管理課係長、上條行政管理課主査</p> <p>[事務局支援]</p> <p>一般財団法人長野経済研究所：中村部長代理、山岸研究員、藤原研究員</p>
議 事	<p>1. 議 事</p> <p>(1) 公共施設再配置計画等の策定について</p> <p>(2) 公共施設等総合管理計画策定等支援(コンサル)</p> <p>(3) 個別施設整備計画について</p>

【次 第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議 事
  - 審議事項
    - (1) 公共施設再配置計画等の策定について
    - (2) 公共施設等総合管理計画策定等支援(コンサル)
    - (3) 個別施設整備計画について
- 4 その他
- 5 閉会

【開 会】

委員長あいさつ

〔松岡委員長からあいさつ〕

議 事

(1) 公共施設再配置計画等の策定について

〔資料により、公共施設再配置計画等について、事務局より説明〕

委 員 長 前回の委員会以降の動き、市の内部のインフラ担当部局の計画の策定状況、それから、住民自治協議会への説明が始まっていますが、それらについて質問、意見又は要望等がありましたらお願いします。

公共施設マネジメント職員研修は委員が出席しても構わないのですか。

事 務 局 ご参加いただければありがたいと思います。また、ご案内いたします。

委員長 他にいかがでしょうか。よろしければ次に移ります。

## (2) 公共施設等総合管理計画策定等支援（コンサル）

〔資料により、公共施設等総合管理計画策定等支援について、コンサルタントより説明〕

委員長 質問、意見又は要望等ありましたらお願いします。

委員 将来人口を踏まえた考えを織り込んだ上で、フルスペックの施設が必要なのか、パースナルな施設でよいのか、それを見極めていくことで、効率良く公共施設は削減できるのではないかという気がするので、そういった検討も必要になると思います。

それから、公共サービスを民間の活力の中で醸成していくという考え方が将来的には必要になってきて、公共サービスとしては必要だけれども、公共施設でなくてもいいのではないかという部分が出てくると思います。

これから、各地域の住民の異論が出てきたときに、どこに落とし所を決めていくかという、まずは住民サービスが低下しないということが一番だと思っています。

委員長 3つほどご提案がありましたが、今後調査をした上で、市民の皆さんに説明しやすい、納得しやすい資料作りをしていただけると、こちらも有り難いし、住民自治協議会へも説明しやすいと思いますので、そういった資料作りを心掛けていただければと思います。

委員 「機能」用途分類については、実態に即して資料を作成することはできないのでしょうか。横軸の利用と施設が異なりますので、やり直していただいたほうがいいかと思えます。

事務局 実態と合わないところがあるかもしれないのですが、既成概念や設置目的に捉われず、実際にどういった使われ方をされているのか分析をしていきたいということで、1つの例としてお示ししています。

委員 現実の用途と連動していかないと説得力がなくなってしまいますので、実態に即した形で資料を作ってくださいと思います。

事務局 今後、統廃合を進めるに当たっても、そういった情報が大事だと思いますので、今の御意見を参考にして、分かりやすい資料を作成するよう努めていきたいと思えます。

委員 中条の他の地域でも「機能」用途分類を作られていると思うのですが、比較分析というのは長野市内の地域での比較ということなのでしょうか。

事務局 比較分析といいますのは、それぞれの施設別の数字を出していき、施設別のデータがあるわけです。そのデータは、築年数、老朽化状況、利用者数などで、こういった情報を元に指標化します。この計算した指標を平均していくという意味で、他の地区との比較もできるようになります。

委員 長野市の中だけの比較になってしまうとこれから減らしていく時に要望を全部聞かざるを得なくなってしまうのではないかと思います。他の似たような自治体も見たいか

ないと、長野市の中だけの話になってしまうのではないかと思います。

事務局 このような形で全ての市町村で行っているわけではないので、同じデータがどの自治体にもあるわけではないです。ただ、別のやり方で既に出しているところもありますので、そういった情報を把握をして、先行している自治体の状況を踏まえて、進めていかなければならないということは考えています。

委員長 4ページの長寿命化計画の策定で道路、橋梁、上下水とありますが、上下水道にしてください。

もう1つですが、市民ワークショップの実施する際に、案件によっては、例えば小学校だったら現場の先生とか、その案件に関わっている人に来てもらう形にするといいと思います。

事務局 ワークショップは、結論を出すということではなく、皆さんの意見をどんどん出してもらおうという機会ですから、専門家の方やできるだけ若い人などに集まっていただくように検討していきます。

委員 モデル事業というのは架空の場所ですか、あるいは実際の場所ですか。将来こうすれば良くなるよということを提案され、それを踏まえて市民ワークショップが実施されるということですか。

事務局 実際の場所での事業の提案もありますし、実際に進みつつある事業がモデル事業になる場合もあります。その後、1つのモデル事業でワークショップを3回程度行い、そこで出た意見などをモデル地区の計画に反映していければという形です。

委員 モデル事業が、いろいろな地区に当てはまるような形になるのか、個別で偏ったものになるのか、少し心配です。個別的なものだと住民の意見も限られたものになってしまいます。

事務局 モデル事業は、実際どこを想定するのか非常に難しいと考えており、できるかできないかも含めてこれから検討しなければなりません。例えば、小学校の中に高齢者福祉施設、保育園などを複合化したらどうなるかということシミュレーションしてみるという形だと思います。

委員 そこに住んでいる住民だけではなく、他の地区の住民の参加も促していくことになるのでしょうか。

事務局 そこにお住まいの方がメインになるかと思います。ただし、他の地区に対しても同じようなやり方ができるものがモデル事業でなければなりませんので、他の地区でも同じような考え方に基づいた再配置ができるというようにピックアップしていきたいと思っています。

委員 市民ワークショップを行うのであれば、広く地域住民を集める方法、手段をとっていかないとならないと思います。

委員 広く大勢の方に知ってもらうのが大事だと思いますので、声かけても来ない人はし

ようがないけれども、声をかけて聞いてもらうという努力は必要だと思います。

委員長 市民の意見を聞きながら、全体の配置を考えていく中で、なかなか大変だけれども、モデル事業を生かしていく形をとりたいのではないかとと思うのですが。

委員 モデルケースを作りたいという気持ちは分かるのですが、最初に取り掛かる所を慎重にやっけていかないと、失敗事例になれば、必ず尾を引きます。

委員長 結論出たからこの施設は終わりというよりは、その後の運用など、いろんなことも総合的に関わってくるので、受け皿が育っていくところまでイメージしてやらないとならない感じはします。

委員 住民の生の声もあったりするでしょうし、あらゆる所から力が働いてきますから、それを集約して前に進めていくというのは大変なことだと思います。ですので、地区の歴史、地区の人口減少がどういった状況で起きてきているのか、昼間人口と夜間人口、平均年齢など、バックデータは拾い上げておかないとならないと思います。

市民の理解が必要だということをデータに基づいて説明していくことで、住民サービス・公共サービスが減退しなことを念頭に置いて、対応していけば活路は見い出せると思います。

委員長 なんからの活路を見い出していくしかありませんね。

委員 新しい施設をできるだけ減らさなければならないという大前提の中で、できるだけ住民サービスの低下を招かないように行っていくと懇切丁寧に粘り強く説明していくしかないと思います。

委員長 いろいろな意見が出て、それを整理するような場になってくれればいいのですが、そういったディスカッションにはなりにくい部分もあるかと思っています。

委員 住民の説明会については、貴重な意見を言う機会を得たと感じる方はいらっしゃいます。行政サイドが、精一杯やったという部分が何らかの形で伝わるという努力は必要だと思います。

委員長 不信感や不安感を取り除いた形で、市が逼迫している状況を話して、どのようなマイナスがあるけれども、それをどうするのかなど、本人のためにプラスになるような方向で話をしないと難しいと思います。

委員 アンケートでも公共施設の見直しが必要というパーセンテージが高いので、そういった数値を根拠に各論に入って、理解いただくということが必要だと思います。

委員長 いろんな情報を持っていると思いますので、全体に不公平感なく不安感や不信感がない中で説明していただくというのが理想的だと思います。

委員 モデル事業については、どれくらいの将来のことまで計画しているのかお聞きしたいと思います。

事務局 ケースバイケースで、第1次再配置計画の10カ年に入れなければいけないもの、20年、30年先を見据えたもの、何パターンかあると思います。ただ、当初の計画は第1次再配置計画に載せる今後10カ年のうちにやらなければいけないものを考えています。

委員 10年後だけを示すのではなく、先まで示すような方向で提示していただければと思います。

委員 モデル事業の実施が突出してしまうと、それに全体が引きずられる可能性があるのではないのでしょうか。

事務局 どこかを抽出するというのは難しく、モデル事業ができるかどうかはまだ確定的な話ではありません。

委員長 難しいということ、慎重にするべきだということは分かってきました。そういった考え方もあるということをお願いいたします。  
他にいかがでしょうか。よろしければ次に移ります。

### (3) 個別施設整備計画について

〔資料により、個別施設整備計画について、事務局より説明〕

委員長 下り坂で凍みていると、いくらスタッドレスタイヤを履いていても、結構緊張感高まる場所ではあります。

委員 この道を通るのですが、常に対向車を気にしています。冬は通りません。皐月保育園のエリア図面というものはあるのでしょうか。

事務局 保育園については通学区のような区域といった決まったものはないのですが、概ねどの辺りを保護者が通っているかということは担当課のほうは把握しています。

委員 1つのモデルになるという考えもあって、進捗状況からアプローチしているということなのですか。

事務局 工期が決まっているということで特殊な案件だったのですが、用地買収とかそういうことではなく、できるだけ市の保有地ということを考えて、信州型自然保育ということもありますので、できるだけ環境の良いところということで、プールが俎上に上がりました。

委員長 ここで結論出すという話ではありません。こんなこともあるということで承知しておいてください。

全体を通していかがでしょうか。

それでは、これにて審議を終わらせていただきます。

**【開 会】**

事 務 局 第11回検討委員会の開催については、改めてご通知します。以上をもちまして、「第10回長野市公共施設適正化検討委員会」を閉会します。